

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日三十月六

定価 一月五圓 三月一四圓 半年二七圓 一年五二圓 郵送料別 外埠加郵料 電話六三〇番

常盤論壇 閥力より民衆へ 田中五郎 幕末維新當時薩、長、土肥の四藩が中心となつて活躍せる結果の藩士のみが主として政府要路の重職に就けるに基因し爾來我が國には藩閥、門閥、軍閥、學閥等々多岐にわたる方面に閥と云ふグループを作り閥以外に立入ることを許さずといふ不文律制度が設けられて來た而してその最も甚だしいは政治を閥力に依りて獨占し來たりたることと其の爲めに政界に流せる害毒は

到底圖り知る可からざるものあるは何人も否む能はざる事實である曰く山縣内閣曰く山本内閣、曰く桂内閣曰く寺内内閣これ等悉々々々藩閥、閥藩にあらざれば軍閥、軍閥にあらざれば財閥に依つて生じたる内閣である閥の力に依つて生じたる結果閥の爲めその内閣が努力すべし先づ必定のこと、見ねばならぬ、近時國民の自覺せるもの頗る顯著なるものある他方財閥に於て無して援助するのを漸く控目となすに至りたる結果政治に對する閥力稍鈍るに至り今日では唯田中首相の長州

濱口民政黨總裁の土州、床次元本黨總裁の薩州と云ふ藩閥が幽かな餘焰を揚て居るに止まり閥力政治は最後の吐息を辛ふじてなして居るに達せぬと云ふ状態にある然らば閥力に代るものは何か?云ふまでもなく民衆の力を基礎とせる所謂民衆政治である故に今日の政界は閥力政治から民衆政治に更生せんとする過渡期にあるのではないかと思ふ而してこれを完全に更生せしむるは國民共同の重大責務である



要松木商店 平町白銀町六 電話六五四番 株式 融金ト買賣 式株 イサ下談相御

霜降小倉 學生服大特賣 小學用 六七歲位 一、二〇 八九歲位 一、二〇 十歲位 一、三〇 十一二歲位 一、四〇 十三四歲位 一、五〇 中學用 二圓二十錢ヨリ各種 なかや洋服店 平二丁目(電二〇三)

夏の涼み 蓄音機とレコード タイムを尊しこ 會田時計店 電話三六三番

南部鐵瓶 月賦 細便宜ニ致シマス ホーキン 爐カギ 大中小...精巧優美 各種...ナ作テス 南部 屋 耳鼻咽喉科専門 大和田醫院 平南町(電話一七〇番)

好評噴々たる エスリ印人參サフラン葡萄酒と 美味ポルトワインは 目下特賣中賣切れぬ内是非御試用を 特約店 山野邊藥局 平町五丁目角 靈藥ムテキにより 切斷の苦しみがなく而して速く癒ります 代理店 阿康藥舖 平町古鍛冶町拾番地 電話四四番

梅毒 腸胃 專門 院病村松 町南平

數島のヒヨケ心を人とは、商品ほごに日や雨の覆 ヒヨケ、シート、テント 警城平町白銀町九 敷島ヒヨケ店 ヤア君か、ヤア君か、見違へたよ、お互ひに餘り立派な洋服になつたので... 正札堂 平町停車場通り

買イ好店 良品ヲ安ク賣ル クーナーリ 関内藥舖 藥劑師 関内 祐助 電話四〇番

標商錄登 命 食罐酒鯉味醬 料詰類節贈油 屋問造製 社會名合崎山屋鹽 番〇一部業營 電話 番七二場 工話

嘉納會長も来平し 有段者創立發會式

肉弾相撲も意氣衝天の勢 昨日盛大に舉行

石城講道館有段者會創立發會式は十二日午前十一時から平町平劇場に於て開催された、貴族院議員講道館會長嘉納治五郎氏を始め中央から永岡、山下兩八段村上、高橋、櫻庭、本田、宮川、大角の各六段來賓として列席中地方からは井上縣議を始め

有志約

二百餘名出席、定刻諸橋會長より開會の挨拶終つて副會長橋本四段から設立の経過報告をな

綱領

一、吾人は心神を煉磨し進んで國運發展の大任を負担せざる可からず
一、吾人は實質剛健として犠牲的精神を涵養せざるべからず
一、吾人は柔道の眞髓たる精力最善活用自他共榮の大精神を治しその社會的生活を期せざるべからず

觀衆の熱狂裡に 磯原クラブ優勝

昨日の三縣聯合庭球大會 參加組數百組

平庭球俱樂部主催第六回茨城、福島、宮城三縣聯合庭球大會は十二日午前九時から平町に開いた、參加組數は百組と平商業九曜兩コートに五十組宛に分かれ試合を行つた定刻

石城舊郡會議室は 利用の機會が多く

繭取引場には貸與出來ぬ

本縣へ過般陳情して來た石城販賣利用組合が繭賣買取引場として舊石城郡役所會議室の借受に關し縣が調査したる處によれば使用希望時期である八月中旬以降十月末日までの六十餘日間に對しては昨年中の同期間中使用別に見れば

各種の會合施設の 模範的挿話

最も多い時期に際し他に之れに換ふるべき適當の施設を有せざる平町の現況にお

人出も 多數あり非 常に賑つたが各チーム奮闘 激戦の結果

磯原(茅根 原町鐵(古内 稻葉)島

遊興費の支障に窮し 大豆樓の裏口から 逃走を企てた窃盜犯

石城郡草野村大字赤沼生れ大工職四家熊五郎(三)は十二日午後十一時頃平町鎌田遊廊大豆樓に登樓し娼妓朝妻を相手として遊興本日午前十一時頃其費用二圓半を支持拂す同家の裏口からコソソリ逃走せんとした所を折柄同方面に某犯罪捜査の爲め出張中であつた青田、川上、柴崎、二瓶の四刑事に難なく逮捕されたが同人は平町南町町金敷方から去る四月廿日頃金の腕時計一個(代金廿圓)を窃取し其筋の

生繭の品質 申分なく良好

平町へ春繭の走りとして出廻つたものは石城郡赤井村大字鹽田鈴木保信方から白繭十三貫三百匁同郡飯野村大字上高久鈴木甲斐之助方から十日午後白繭三十貫黃へ積込んだのが皮切であるが相場は糸價が活氣を呈せざるため早場各地の風調を移し製糸家も一般に見送りの姿なる結果いまだに商談の成立を見ざるも六十七八掛と豫想されてゐるが生繭の品質は白黃共極めて良好で



野菜シチュウ

馬鈴薯、いんげん、人参等を小さい賽の目に切り、バターでいためて水をさし、味の素、鹽、胡椒で味をつけ

英米佛の外 獨の特許權

石城郡江名町大字中の作遠藤俊一郎氏は魚類を原料とするヤマト醬油の創始者として日本は勿論既に英米佛各國の專賣特許權を獲得し世界中最も難關と稱せらるる獨逸の分だけ未決の裡に置かれてゐたが大正十一年特許の出願をなして以來茲に六年目去月二十五日付を以て之亦首尾よく特許されたる旨此程通知があつたので石城の生んだ少壯發明家の創始に係るヤマト醬油は茲に完全に全世界の特許權を獲得し世界的に之れを價値づけられたものと觀るべきである